ジョイフル城北
スマイル城北

令和７年度 学校だより
ジョイスマ
令和７年７月７日
熊本市立城北小学校
校長

夏休みはいろいろな体験ができるとき！

今年は「九州南部が一番に梅雨入り」や「九州北部の梅雨明けは例年7月10日過ぎだが、6月に梅雨明け」など、最近は「例年にない気象が普通」になってきています。最高気温が何度になるのか心配し、熱中症対策をしながら学校では学習を行っています。

さて、7月19日から夏休みです。8月28日までの41日間、ご家庭でどうぞよろしくお願いします。夏休みは普段できないことができるチャンスです。可能な範囲で、何らかの体験をさせていただければと思います。そこで一つ夏休みではなく9月23日（火・祝）に計画されている「マチノガッコウ」という体験活動を紹介します。マチノガッコウ実行委員会（熊大教授、熊本市、市教育委員会、上通下通商栄会）が主催する上通下通で小学生が体験活動を行う取り組みです。マチノガッコウのコンセプトは「熊本の宝物を知って、遊んで、みんなでつくる」です。コロナ禍の令和4年に始まり、本年度で4回目になります。マチノガッコウは大人が見守る中、大学生や高校生たちが中心になり小学生たちと一緒に「熊本のまちなかの魅力」を学びます。今年のマチノガッコウの会議が6月末に熊本市教育センター（写真上）で行われました。参加校は、熊本高校、熊本商業高校、千原台高校、九州学院高校、熊本中央高校、尚絅高校、熊本大学、尚絅大学、熊本ビジネス専門学校です。私も参加しましたが、学生さんたちは、小学生に「どんな体験がいいのか」「実施可能な体験か」など、熱のこもった話し合いを行っていました。これから学生さんたちは、本番の日に向かって、夏休みに数回集まり、この具体的な計画を進めていきます。学生さんたちは部活動や勉強など忙しい中、マチノガッコウの計画が充実するように夏休みを使うのだと思います。

ちなみに昨年は、高校生が考えた「文房具店の店頭で文具の販売」や「甘味処で試食した後、お茶屋でお茶の種類や歴史を学び、試飲（写真左）」など楽しい体験コースが数種類ありました。また、本校からは4年生が3人参加しました。

夏休みに家族でいろいろな体験を通して、ドキドキ感や達成感などを味わっていただきたいです。家族で一緒に体験することは、とてもいいことだと思います。時間割やチャイムのない毎日を規則正しく過ごすのはなかなか難しいですが、家族で相談して、工夫して過ごしてみてください。何よりも大切なのは「命を大切に」することです。大きな事故や病気がないように、くれぐれも安全・健康に気をつけて楽しい夏休みになることを願っています。